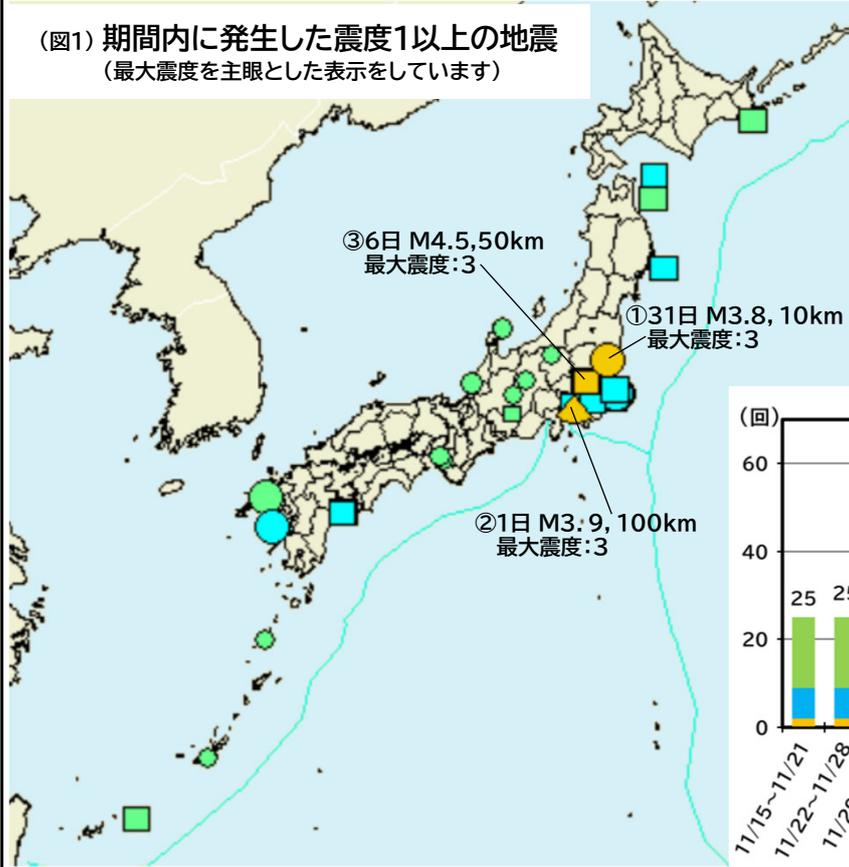


この期間の最大震度は3

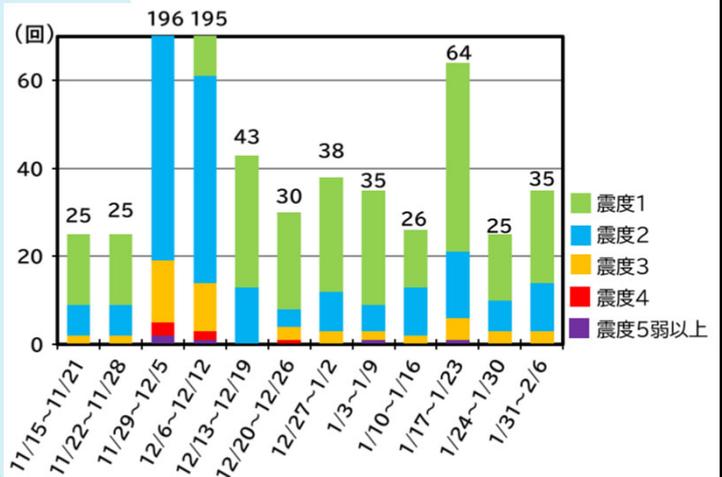
本資料は上記期間に国内で発生した震度1以上の地震についてまとめたもの (出典:気象庁震度データベース/地震情報)

(図1) 期間内に発生した震度1以上の地震  
(最大震度を主眼とした表示をしています)



最大震度	マグニチュード	深さ(km)
震度5弱以上	7.0	0
震度4	5.0	30
震度3	3.0	90
震度2		
震度1		

(図2) 1週間毎の最大震度別地震発生回数



主な地震の発生状況 (図1,図2参照)

■ この期間、震度1以上の地震が35回発生。最大震度は3。 ■

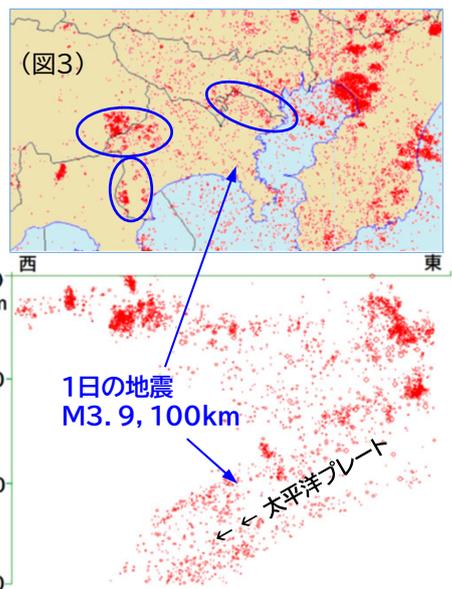
①31日00時38分に茨城県北部で発生した地震(M3.8、深さ10km)により、茨城県日立市で震度3を観測したほか、茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県で震度2~1を観測。この地震は地殻内で発生した正断層型の地震。この地域は、東北地方太平洋沖地震発生後に地震活動が活発になっている。

②1日04時33分に神奈川県東部で発生した地震(M3.9、深さ100km)により、東京都千代田区で震度3を観測したほか、関東地方、山梨県及び静岡県で震度2~1を観測。この地震は太平洋プレート内部で発生した横ずれ断層型(トピックス参照)。

③6日19時15分に茨城県南部で発生した地震(M4.0、深さ50km:速報値)により、茨城県筑西市・坂東市、栃木県栃木市・下野市で震度3を観測したほか、茨城県から東京都にかけて震度2~1を観測。この地震はフィリピン海プレートと陸のプレートの境界で発生。この付近は、元々活動が活発な領域で、東北地方太平洋沖地震の発生以降、活動がより活発となりM5クラスの地震がしばしば発生している。

トピックス

図3:1997年10月以降に発生した地震の震央分布図(上)と、断面図(下)(M≧2.0)



■ 神奈川県の地震活動 ■

- ・神奈川県内で発生する地震の特徴は以下のように大別できる。
- ・神奈川県内の地震活動は西部(山梨、静岡県境付近)で発生する地震と、東部(東京都境付近)に大別できます(図3)。
- ・神奈川県西部の深さ10km~30kmの地震は、関東周辺でも活動が活発なところでフィリピン海プレートが南東から北東方向に沈み込んでいることに伴って発生するもので、被害を伴うM6クラスの地震も過去に何度か発生しています。
- ・深さ70km~150kmの深い場所で発生する地震は、県東部で約70km、県西部で約150kmにかけて西方向に傾斜する方向で発生しており、東から西方に沈みこむ太平洋プレートの運動に関連しています。浅い地震の活動と比べると発生頻度は低く、規模の大きい地震の発生もありません。1日の地震はこの場所で発生しました。
- ・箱根から伊豆半島にかけて発生する深さ10km以下の浅い地震は、火山活動に伴う地震で、多様なタイプの地震が発生しています。